

令和2年度第1回開成町協働推進会議
書面会議意見

- 【回答者】（委員）高島委員 柄子委員 浅田委員 露木委員
小田委員 塚本委員
- 【事務局】企画総務部企画政策課協働推進担当
- 【議題】（1）開成町協働推進計画実施計画令和元年度評価及び
令和2年度事業計画について
（2）開成町民活動サポートセンター設置延期について
- 【その他】（1）その他自由意見
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面会議にて開催。

主旨

町では、町民との協働によるまちづくりを推進するため、協働推進に関し優れた識見を有する方からなる開成町協働推進会議を設置している。

今回の会議では、開成町協働推進計画実施計画令和元年度評価及び令和2年度事業計画、新型コロナウイルス感染症の影響による開成町民活動サポートセンター設置延期について意見を求めた。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面会議にて開催した。各委員からの意見に対して、事務局及び事業所管課が回答している。

1 議題1 開成町協働推進計画実施計画令和元年度評価及び
令和2年度事業計画について……資料2、3

（1）令和元年度評価結果について

- 数値指標（評価①）において、ほとんどの事業が数値目標を達成でき、協働事業は順調に推進されていると考えます。
- 管理シートⅠの事業では、長年培われた協働の方法が根付き、昨年度もよい成果をあげることができたと思います。協働パートナーの町民や団体のおかげです。
- 管理シートⅡの事業でも、協働の観点からもよく計画、実行され、成果が出ています。
- 特に担当とのヒアリングを行うことにより、担当が協働をより意識して計画、反省できるうえに、協働推進担当からのアドバイスも有効的であることがわかります。
- 交流会も、多くの町民、団体が参加して行われ、情報交換

や情報提供を時間が足りないくらいにできました。この交流が刺激となり、協働事業の活性化の一助になると思います。

- 実施計画進行管理シートⅠとⅡの2種類で評価していて、大変わかりやすい。担当からのコメントにより、具体的な改善点を指摘していて、協働の方向性がわかりやすく伝わっていると感じた。
- 事業一覧表について、目標達成した事業の欄の数値を○で囲むか網掛けするとわかりやすいと思います。

→セルを網掛けにしました。(協働推進担当)

- 令和元年度協働事業一覧の目標、実績欄の横に実績率（または達成率）（％）を入れる欄があれば見やすい。

→達成率を記入するセルを設けました。(協働推進担当)

- 令和元年度の評価結果について、B評価の事業中、「③減災対策事業（感震ブレーカー設置推進事業）」については、地域単位における取り組み格差によるものと、実施3年目という町民の関心の薄れ等が挙げられると考えます。令和2年度が最終年度ではありますが、周知方法等に再考を要すものと考えます。

→令和元年度実施した自治会経由での周知方法を見直し、令和2年度は制度最終年度でもあるため、自治会未加入者を含めた全世帯へのチラシの郵送等を検討します。(防災安全課)

- 「⑪自治会運営推進事業（自治会加入促進）」については、役員の役割軽減策を考慮することも重要であるが、新規自治会加入者の増加策として、集合住宅在住の方々の加入策を検討していくことが先決と考えます。
- 「③減災対策事業（感震ブレーカー設置推進事業）」については、目標値4,000個の設定が、町世帯数の2/3で高すぎるのだと思う。

→総合計画の指標として目標値を設定しており、4年間の時限つき制度であることから、制度途中での数値目標の設定は難しいです。(防災安全課)

(2) 令和2年度事業計画について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が難

しくなっているものもありますが、感染予防の基本的対策はもとより、事業の内容や方法をより工夫して実施できるように努めていただきたい。様々な分野での弱者がコロナ禍で見過ごされないようにお願いします。

- 令和2年度事業計画は、事業中止も多く、令和3年度もなかなか計画や見通しが難しい状況だと思います。協働事業が維持されることを期待しています。
- 今年度中止になった事業以外でも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて縮小されたり、人数がそろわなかったりした団体等の話も聞きます。事業計画に沿った運営の評価は、難しいです。
- 新型コロナウイルス感染症の影響が、協働事業には著しく、残念である。
- 令和2年度実施計画では、コロナ対応で集会中止が多いですが、Webで会議や講演会を実施することを指導・推奨してはどうでしょうか。

→Web会議等のスキルを持たない団体も多いので、まずは実施方法や機材の操作についての講座を開催したいと考えています。また、町民活動サポートセンターにWi-Fi環境を整備する予定なので、そちらの活用も進めていきます。(協働推進担当)

- 「⑪自治会運営推進事業（自治会加入促進）」について、ガイドラインの作成に期待しています。
- 「⑮コミュニティ・スクール推進事業」の数値指標は、何年も前から達成しているなので、他の協働の指標を設定した方が活性化発展できると思います。

→実施計画策定時(令和元年度)に定めた数値指標です。会議メンバーもあて職であり、数値指標となる基準をもたないため、学校数を指標としました。(学校教育課)

- 「⑰土曜学校（あじさい塾）推進事業」事業の概要に協働の観点を入れた方がよい。例) 町民や企業を講師に招き～
- 事業概要を修正しました。(生涯学習課)**

【修正後】学校での教育課程以外の時間に、子どもたちが教育活動や体験活動ができるよう、多様な経験や能力を持つ人材を町民、企業、団体等から講師として選任し、教育委員会が主体となって体系的・継続的に実施する事業。

- 「②④災害時要援護者支援推進事業（災害時要援護者登録制度）」について、事業開始から10年以上経っているので、自治会や支援者など役割の認識が薄れてしまっているところも見受けられるので、実効性の確保に向けて基本の再確認が必要かと思います。
→災害時要援護者登録制度は現在、制度内容・運用方法の見直しを検討する段階となっています。今後、制度にご協力いただいている、自治会、民生委員及び社会福祉協議会と制度内容等について共通認識を作っていければと考えます。
(福祉介護課)
- 「②⑧環境美化活動推進事業（かいせいクリーンデー）」について、クリーンデーは日曜日実施なので、事業者の参加には限界がある。平日に毎日道路清掃などを行っている事業者もあるので、どんな方法でも認めていける手立てを。
→事業者が単独で実施する平日の清掃活動については、すでにクリーンデーの参加人数に含めています。進行管理シートで数値指標としているのは、「自治会と協働して」実施する清掃活動であるため、実績に含めていません。今後、事業者と自治会が協働で美化活動に取り組めるように、さらに両者の橋渡しができるように注力します。(環境上下水道課)
- 「③減災対策事業（感震ブレーカー設置推進事業）」の目標数がすでに現実的でないのであれば令和2年度実施計画で見直しはできなかつたのでしょうか。来年も「目標より低いが県の平均よりは高い」では目標設定する意味がないかと思いました。当該事業に限らず、来年度は見直しも可能としてはどうでしょうか。
→総合計画の指標として目標値を設定しており、4年間の時限つき制度であることから、制度途中での数値目標の設定は難しいです。(防災安全課)
減災対策事業については、第五次開成町総合計画後期基本計画に掲載されており、協働推進計画実施計画と同じ数値目標を定めています。総合計画の方が協働推進計画よりも上位に位置する計画であること、令和2年度で終了する事業で

あることから、この事業については数値目標の変更はしません。ただし、他事業については総合計画の数値指標にとらわれず、実情に即した協働推進計画独自の数値指標を定められるようにします。(例:総合計画ではプレーカー設置数を数値指標とするが、協働推進計画では自治会からの申し込み数を数値指標に設定する等)(協働推進担当)

2 **議題 2** 開成町民活動サポートセンター設置延期について……資料 4

- 改修事業が先送りになるのは仕方がない。新型コロナウイルス感染症の影響で、利用する団体の活動も平常より少ないので。
- 開設延期となる情報提供をお願いします。
→お知らせ版 10 月1日号に記事掲載、町民公益活動団体(町民活動採択団体、NPO 団体、社協ボランティア登録団体)に対して、個別に通知を送付しました。
- 改修とオープンが延期となり、あらためて町民の利用しやすい内容での見通しをお願いします。
- 町民公益活動団体のソフト面の支援はぜひ。情報発信、コロナ対策などの情報も。協働団体とのコミュニケーションも絶やすことなく。
- 新型コロナウイルス感染症の予防を考慮した、ハード・ソフト面での見通しが必要と思われます。(密にならず、多くの人に触れるものの消毒など)
→交流スペースの座席数を減らしたり、飛沫防止カーテンや消毒液を設置したりすることを予定しています。ソフト面のサポートとして、Web 会議等のスキルアップ講座を実施したいと考えています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で延期となりました。With コロナを踏まえた、新しいサポートセンターのあり方を考えなくてはと思います。
- 今回のコロナ禍のもとでは、町民活動サポートセンターの設置延期については、適切な(やむを得ない)措置だと思います。延期になった空白期間を利用して、環境整備等の更なるブラッシュアップをするとともに、資料4の(3)にある開設までのソフト面の支援について、可能な限り先行実施して、よりスムーズに開所・運営がなされることを期待するものである。
- コロナ禍において、工事が遅れるのは当然ですし、設置してもリアルに集まることはあまりよくないので、設置延期は妥当だ

と思います。他方、ソフト面の対応としては①の講座開催や②の交流や情報交換は、すぐにでも Web で行ってはどうでしょうか。

→まずは団体が Web 対応に慣れることが大切だと考えます。令和3年度中にオンライン会議システム「Zoom」使用についての講座を開催します。

3 その他、ご意見があればご記入ください。

- なにぶん、コロナを踏まえた協働推進を模索しなくてはなりません。なんとも歯がゆいです。
- 令和2年度の1年間においては、多くの事業が自粛・中止あるいは規模の縮小となり、生活環境の変化への対応や加齢による気力の低下等による取組に対するモチベーションの変化が危惧されるのではないのでしょうか。そのためにも、令和2年度の下半期の活動もさることながら、来年度を見据えて過去の活動を検証しつつ、with コロナの時代の活動計画の立案等を進めていくことも大切かと思います。
- Web 対応は一般的になりつつあります。性能が上がってきて質も問題ないですし、難しくありません。導入及び立ち上げのお手伝いをいたしますので、是非実行してください。
→ぜひお願いしたいので、よろしく願いいたします。

以上